

「リバイバルを求めて」

■はじめに

2021 年「10 日間の特別祈禱」へようこそ！ 一年のはじめに教会が 10 日間祈ることを始めてから、主は多くの奇跡を行ってこられました。聖霊は、リバイバル、回心、伝道への熱意の回復と、人間関係における癒しを与えてくださいました。まさしく、祈りのあるところにリバイバルが生まれるのです！

天の御父が求める者に与えると約束してくださった聖霊の注ぎを求め、兄弟姉妹と心を合わせて祈るとき、祈るあなた自身とあなたが祈っている人の人生は必ず変えられるとわたしたちは信じています。

昨年、「10 日間の特別祈禱」に参加した方々の証です。

N.H.さん

「10 日間の特別祈禱」の間、2つのことを祈り求めました。

- ① 娘がドラッグ依存症から解放されるように。
- ② 主人が 2020 年までに主のもとに帰って来るように。

神様の奇跡に感謝します。娘はメタンフェタミン(薬)から、8ヶ月間離れることができ、ホームレスではなくなり、フルタイムで働き始めたからです。さらに主人は、再バプテスマを受け、2021年の「10 日間の特別祈禱」に私と一緒に出席しているのです。イエス・キリストを通して、父なる神様に讃美をささげます。

L.M.さん

私の国では干ばつが起きたので、教会全体で雨が降るよう祈り始めました。ひどい状態で、すべての人がパニックに陥るほどでした。しかし三日後、主は、私たちの祈りに答えてくださいました。今は毎日、雨が降り続いています。

デレクさん

祈ることによって、病人は癒され、疎遠だった家族が再び一つに集まり、愛する人々の死に直面しても希望があります。人々は、神様に再献身しました。私たちは、生きておられる主に仕えます！ 2021年、神様が私たちのために用意してくださっている計画が待ち遠しいです。

■あなたの証しをお送りください

2021 年「10 日間の特別祈禱」を通して、神様がどのように働かれたかを、ぜひお知らせください！ あなたの経験は他の参加者にとっての励ましとなります。

証しは、下記のメールアドレス、または FAX でお送りください。

pm@adventist.jp (教団信徒伝道部代表)

無料 FAX : 0120-630-058

わたしたちの祈りのテーマ ：リバイバルを求めて

今年の「10 日間の特別祈禱」の間、私たちは、聖霊の力を通して、リバイバルを求めるよう、あなたを招待します。あなたが祈る時、ゼルバベルへの神の約束を、自分への約束として、訴えてください。「武力によらず、権力によらず／ただわが霊によって、と万軍の主は言われる」(ゼカリヤ書 4:6)。言い換えるなら、「あなたが計画していることは、軍隊の力や人間の力で成功するのではない。むしろ、私の霊がそれを成し遂げるのだ。わたし、主、全能の神が、これを約束する」(本ガイドの著者による、あるドイツ語聖書の翻訳)。

神は、今日、驚くべきことを、私たちの生活と教会の中で、行おうとしておられます。主の計画は、私たち自身の能力をはるかに超えています。そして、祈りを通して主といつもつながっていることによってのみ、彼が私たちのために用意してくださった任務を実行することができます。主は、こうお命じになりました。「わたしを呼べ。わたしはあなたに答え、あなたの知らない隠された大いなることを告げ知らせる」(エレミヤ書 33:3)。

リバイバルと約束された聖霊の注ぎのために祈る私たちの輪に参加してください。まず神の国を求め、主が天の窓を開かれるのを見ましょう！

■祈りの時間のガイドライン(指針)

- ◎簡潔な言葉で祈りましょう：一つの課題について簡潔な文章で祈りましょう。そして他の人に機会を譲りましょう。会話と同じように、祈りたいだけ何度祈っても良いのです。
- ◎沈黙のときがあっても構いません。聖霊の声に耳を傾ける機会となります。
- ◎聖霊の導かれるままに賛美歌を歌うことも、大きな祝福となります。この場合、ピアノ伴奏は必要ありません。アカペラで歌いましょう。
- ◎祈りの課題を挙げるために大切な祈りの時間を費やしてしまうより、むしろ、それらの課題について祈りましょう。あなたが祈ったのと同じことについて、さらに他の人が祈っても良いですし、あなたの

必要について約束を求めて祈ってもらうこともできます。

■約束を求める

神はみ言葉を通してたくさんの約束をお与えになりました。それらの約束に基づいて祈ることは、わたしたちの特権です。主のご命令と勧告は、すべて約束です。主は、ご自身の力によってわたしたちが成し得ないことをするように求められることは決してありません。

わたしたちが祈るとき、自らの必要、困難、課題ばかりに目を向け、自分が直面している状況について嘆き訴えることは非常にたやすいことです。しかしこれは、祈りの目的ではありません。祈りは、わたしたちの信仰を強めるものです。神の約束に基づいて祈ることをおすすめする理由はここににあります。

神の約束は、自分自身の弱さではなくキリストに目を向けるための助けとなります。主のみ姿に変えられるのは、主を見上げることによるのです。

「神の御言葉の中にある約束は、すべてわたしたちのためのものです。信仰によって願い求めるならば、あらゆる霊的な祝福を受け取るという神の御言葉は確かな約束です。求め続けるなら、あなたが求めるよりはるかに、あり余るほど豊かに受けることができるのです。」(“In Heavenly Places” p.71)

約束に基づいて祈るためには、どうすれば良いでしょうか。

例えば、平和について祈り求めるとき、ヨハネによる福音書 14 章 27 節を用いて祈ることができます。「主よ、あなたはこうおっしゃいました。『わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな』。あなたが約束された平和を与えてください。」

その場ですぐに与えられたと感じなくても、主が平和を与えてくださることを感謝しましょう。

■断食(何かを断つ)

10 日間の特別祈禱において、ダニエルの断食をするようにおすすめします。祈りと断食によって一

年を始めることは、わたしたちの一年の歩みを神におさげする上で非常に有益な方法です。

エレン・G・ホワイトは次のように言っています。

「神の民は今も、また最後の時まで、さらに熱心に、さらに目をさまして自分の知恵に頼らず、彼らの指導者であられる神の知恵に頼るべきである。彼らは断食と祈禱のために幾日かを聖別すべきである。完全に食物を断つことは要求されないかもしれないが、最も単純な食物を控え目に食べるべきである。」(『食事と食物に関する勧告』 306 項)

わたしたちはダニエルが 10 日の間、果物と野菜だけを食べたことを知っています。同じように、10 日間の特別祈禱において、非常に簡素な食事をするをおすすめします。砂糖、加工食品、精製食品、清涼飲料水などを摂らないようにすると、さまざまな点で利益があります。まず、簡素な食事をするということは、より短い時間で食事を準備することができ、より多くの時間を主と共に過ごすことができるようになることを意味します。次に、食事をより簡素にするということは、より消化がしやすくなるということと、より頭脳が明晰になるということです。

断食とは単に食事を控えるということだけではありません。テレビや映画、ゲーム、また Facebook や YouTube などの鑑賞も控えましょう。Facebook や YouTube などは、必ずしもそれ自体が悪ではなくても、わたしたちの時間を大幅に奪います。主と共に過ごす時間を確保することができるように、可能な限りすべての障害から離れましょう。

断食は神様から奇跡を得るための近道ではありません。断食とは、神様がわたしたちのうちに、そしてわたしたちを通して働くことができるように、わたしたち自身を謙虚にすることです。

神のみ前にわたしたちをへりくだらせ、心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして主を求めましょう。祈りと断食を通して主に近づけば、主はわたしたちを近づけてくださいます。

■聖霊

一人の人のために、あるいは特定の状況において、なにをどのように祈るべきかを教えていただける

よう聖霊に求めましょう。

「わたしたちは、キリストの名によって祈るだけではなくて、聖霊に感じて祈らなければならない。『御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである』と言われているのは、そのことを説明している。このような祈りを神は喜んで聞いてくださるのである(ローマ 8:26)。熱心に力をこめて、キリストの名によって祈るならば、そのような熱心さをもって祈ること自体が、『求めた思うところのいっさいを、はるかに越えて』、神がわたしたちの祈りに答えようとしておられることの神の保証なのである(エペソ 3:20)。」

(『キリストの実物教訓』 126 ページ)

■信仰

あかしの書は、このように語っています。

「祈りと信仰はこの世のどんな力もできないことをする。」(『ミニストリー・オブ・ヒーリング新装版』 343 ページ)

また、わたしたちは祈り、神が祈りを聞いておられ、応えてくださるという信仰を持つように励まされています。

「キリストは「求めなさい。そうすれば、与えられる。」と言いました。この聖句の中で、キリストは私たちがどのように祈るべきか指示を与えておられます。私たちは子供のような単純さをもって天の父のもとへ行くのであり、聖霊の賜物を主に求めるのです。イエスはまた言われます「祈りもとめるものはすべて既に得られたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる」。あなたは悔い改め、あなたの罪を告白し、罪と汚れの魂を虚しくして父のもとに行くのです。そして主の約束を証明することがあなたの特権なのです……。」

■執り成しの祈り

10 日間の特別祈禱を通して、「より豊かな人生」を経験してほしいと思う人のために特別にお祈りすることをおすすめします。

親戚、友人、同僚、近隣の人、あるいは知人等、どのような関わりのある方でも良いでしょう。だれのために祈るよう、主があなたに求めておられるか、それを教えていただく時間をとりましょう。この 7 人に対して真の重荷を感じることができるよう、祈り求めましょう。

その人たちの名前を書き留めて、聖書の中のようによく見る場所に置きましょう。名前を書き留めることには大きな力があるので、神様があなたの祈りへの

答えとしてどのように応えてくださったかに驚くことでしょう。別紙の記入用紙をどうぞご活用ください。

リバイバルのためのさらなる資料

2021 年の「祈りのガイド」の主なる著者は、ヘルムート・ハウベイルです。彼はビジネスマンとして働いたのち、37 歳の時に神からの伝道の召しに応えました。アドベンチストの老人ホームのディレクターとして奉仕し、のちにミッション誌の編集者となり、そして、中央アジアとインドにおける伝道の働きを指導しました。近年、世界中の信徒に対して、著書やセミナーを通して靈感を与えています。ベストセラー著書の中には『個人的リバイバルへの道』が含まれています。

『個人的リバイバルへの道』の日本語版は、教団ホームページの「教会員サポート」内の、「e-Book ライブラリー（資料室）」から無料でダウンロードすることができます。この本は、40 の言語で翻訳され、オーディオブックにもなっています。ヘルムート・ハウベイルの他の著書には、『イエスの中に居る (Abide in Jesus)』(英文)、『御霊に満たされたイエスの同労者 (Spirit-filled Coworkers of Jesus)』(英文)があります。

「10 日間の特別祈祷」の参加者は、「祈りのガイド」に加えて、下記の本の章を読まれると、さらなる参考になるでしょう。

- 第 1 日 『個人的リバイバルへの道』 1 章「キリストの最も特別な贈り物－聖霊」
- 第 2 日 『御霊に満たされたイエスの同労者』 1 章「神はあなたを愛しておられます」
- 第 3 日 『イエスの中に居る』 2 章「イエスに委ねる」
- 第 4 日 『個人的リバイバルへの道』 2 章「私たちの問題の中心はどこにあるのか？」
- 第 5 日 『個人的リバイバルへの道』 2 章「私たちの問題の中心はどこにあるのか？」
- 第 6 日 『個人的リバイバルへの道』 3 章「私たちの抱える問題はどうかすれば解決できるのか？」
- 第 7 日 『個人的リバイバルへの道』 5 章「実際に経験するための鍵」
- 第 8 日 『イエスの中に居る』 4 章「イエスを通して服従する」
- 第 9 日 『御霊に満たされたイエスの同労者』 3 章「私が神のために働くのか、それとも神が私を通して働かれるのか？」
- 第 10 日 『御霊に満たされたイエスの同労者』 10 章「霊的宣教師の再スタート、三つのステップ」

◆ウェブサイト www.tendaysofprayer.org では、地域社会に伝道するうえで役に立つアイディアのリストを入手できます。(英語)

◆資料はセブンスデー・アドベンチスト世界総会牧師会によって作成されています。

◆特に断りがないかぎり、本文中の聖書は日本聖書協会発行『新共同訳聖書』を使用しています。